

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Fコート

試合区分: No. 304 少年男子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 安ヶ川 剛士

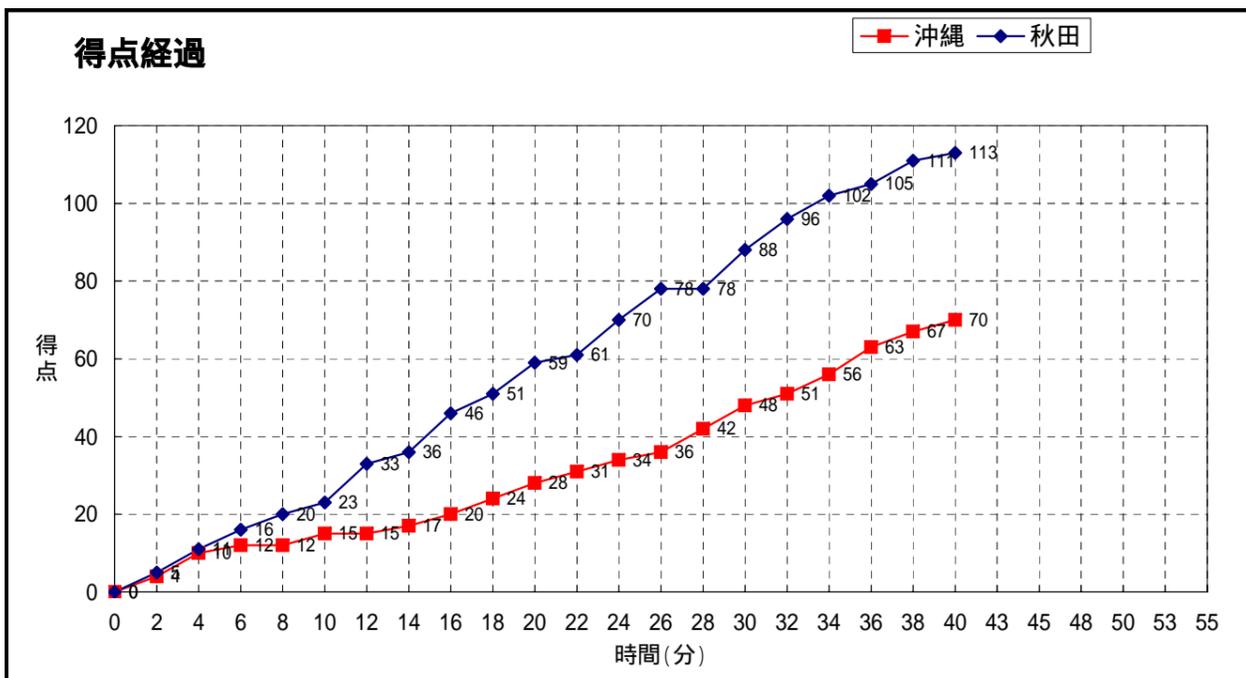
開始時間: 11:45

副審: 塚本 圭右

終了時間: 13:11

秋田						沖縄									
113						70									
(東北)						(九州)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	下山 竜良	18	2	5	2	0	4	*	狩俣 昌也	17	3	3	2	4
5		満原 優樹	-	-	-	-	-	5	*	下地 恵輔	0	0	0	0	0
6	*	長谷川 技	19	0	8	3	2	6		山内 盛士	8	0	2	4	2
7	*	渡部 敬祐	18	5	1	1	3	7	*	池原 慶紀	8	2	1	0	2
8	*	西山 達哉	20	4	4	0	1	8		元安 ユキヤ	0	0	0	0	0
9		高橋 健太郎	5	0	2	1	0	9	*	宮城 信吾	19	1	8	0	3
10	*	遠藤 悠亮	19	0	8	3	1	10		喜納 亮	5	1	1	0	2
11		石川 朝	4	0	2	0	3	11		新城 正貴	0	0	0	0	0
12		宮川 光	6	0	3	0	0	12		岸本 行央	0	0	0	0	1
13		高橋 陽	0	0	0	0	0	13	*	富山 英作	9	1	2	2	1
14		館山 健太	4	0	2	0	0	14		金城 徹	4	0	2	0	1
15		熊谷 健	0	0	0	0	0	15		砂川 貴哉	0	0	0	0	0
コーチ		加藤 三彦						コーチ		屋嘉 謙呉					
合計			113	11	35	10	10	合計			70	8	19	8	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、開始早々、沖縄#9宮城のジャンプシュート、秋田#6長谷川のドライブインからのシュートでスタート。その後、秋田は#7渡部を中心に次々とアウトサイドシュートを狙い、確実に決めていく。一方沖縄は#4狩俣、#7池原のドライブインや#13富山の3Pシュートなどで対抗するが、点数がのびない。残り3分から秋田のスティールが目立ち、秋田の8点リードで終える。

第2ピリオド、開始1分で秋田は2本続けて速攻を決める。沖縄はタイムアウトをとるが、その後も秋田#8西山らのスティールが続き、流れを変えることができない。第1ピリオドと同様、沖縄はドライブインで攻めるが、秋田のゾーンディフェンスにおさえられる。残り5分から秋田#7渡部の3Pシュートが続き、59-30秋田リードで前半を終了した。

第3ピリオド、両チームとも早い攻めからアウトサイドをねらい、沖縄#4狩俣の3Pシュートでスタート。沖縄#14金城が積極的にシュートを打つが、秋田はリバウンドを確実にとる。残り6分、秋田は早いパスまわしからインサイド#10遠藤を使って得点を重ねる。沖縄は#7池原のドライブインを基点に#9宮城、#4狩俣がシュートへ持ちこむが、結局88-48と秋田が40点にリードを広げて第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、秋田は#4下山、#8西山の3Pシュートで沖縄を引き離していく。残り5分、秋田はオールコートディフェンスに変えるがファウルが多くなる。その一方、沖縄は#7池原がボールを支配し、3Pシュートやドライブインで加点する。終盤は両チームともパスミスやゴール下のシュートミスがあったが、秋田がスピードを活かして113-70と大差をつけて勝利した。

担当者:野田 彩未(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会